

「脱炭素へシフト、チャレンジ・カーボンニュートラル・いなべ」 2030温室効果ガス46%削減に向けた脱炭素先行地域内の取り組み

【先行地域モデル】



●今回の契約内容

水素ステーション本体工事(水素生成装置、エアコンプレッサー、冷凍機等)

●追加予定の工事

太陽光発電設備(50kW)

①公共施設、駐車場を活用した太陽光発電設備の設置

○太陽光パネル (9,200kW)

本庁舎職員用駐車場及び来客駐車場、阿下喜小学校、北勢中学校 ほか

○蓄電池 (4カ所)

本庁舎職員駐車場、阿下喜小学校、北勢中学校 ほか

②小規模分散・自立型の電力供給システムの構築

○電設備と蓄電設備の整備によりマイクログリッドを運用、電力の需要と供給のバランスを保つエネルギーマネジメントシステムを構築

○公共施設を専用の電力線で繋ぎ、平常時には太陽光の電力を地域内で効率よく利用、大規模停電などの非常時には送配電ネットワークから独立し地域内で自給自足を行う

③グリーン水素の生成と水素ステーションの整備

○電力供給網から再生可能エネルギーを使い、水を電気分解して水素を生成するステーションを防災拠点に整備

○公用車・給食配送車・スクールバスへ水素を供給、業務用車両による環境負荷を軽減

④環境負荷軽減車両の導入

○水素ステーション、EV充電器の整備により公用車をFCV・EV化

○災害時の電力供給車としても利用

